

(敬称略)



▲熊野高校 3年 竹下 あゆみ

『Dr. Martens』

【評】自分のお気に入りの靴を油絵の具の特質を生かしながら、生き生きと表現しています。



▲熊野高校 3年 石丸 菊美
 【評】光明皇后「樂毅論」(奈良時代)を臨書したものです。光明皇后の強い人格が表れた雄渾な書ですが、その書風に学び、一点一画の打ち込みに強さを感じます。筆力に富み、骨格のしつかりとした作品になりました。

熊野の自然 (189)

ナワシロイチゴ

(バラ科)



6月は、苺の季節です。今、苺というケーキに使われるオランダイチゴを指しますが、昔、苺と呼んでいたのは「木苺^{キイチゴ}」の仲間です。熊野で一番身近なキイチゴは、このナワシロイチゴです。田畑の畔、川の土手、石垣などでよく見られます。キイチゴ属のほとんどが白い花ですが、ナワシロイチゴの花びらはピンク。花は5〜6月頃。5枚の花びらは開かないで立っているため、花を閉じているように見えます。多くの雄しべ雌しべがあります。果実は6月の苗代の頃、赤く熟します。つまんで食べるのは、

果実の集まったもので直径1cmあまり。果実酒やジャムにも利用できます。落葉低木で、茎はつる状に伸び短毛と刺が生えています。葉は互生。小葉3枚で1つの葉となり、縁は不揃いのギザギザがあります。葉の裏は、白い綿毛でおおわれています。

キイチゴ属の学名は「ルブス」。赤という意味で、ルビーと同じ語源です。甘い果汁たっぷりの赤い宝石です。この属の果実は、白や黄、橙色に熟すものもありますが、多くは赤や黒に熟します。町内のキイチゴ属は、ナガバモミジイチゴ、クサイチゴ、ニガイチゴ、フユイチゴなどあり、フユイチゴを除き6月頃食べられます。

【写真文】

緑花文化士 富沢由美子

町の人口と世帯数 (前年同月比較)

平成17年 4月30日	平成16年 4月30日
26,070人...人口	26,184人
12,680人... 男	12,753人
13,390人... 女	13,431人
10,010 ...世帯数	9,833

熊野町の火災と救急 平成17年 4月中

火災	2件
死者	1人
救急搬送	58件
救急搬送	54人

火災と救急の通報は119番

その他、消防の問合せ・相談はこちら
 海田地区消防署熊野出張所
 TEL854-1103

友田 達雄さん(新宮)



友田さんは「先天性脳性まひ」のため、身体の動きがかなり制限されておられますが、書道など色々なことに挑戦されています。

今月の題字